

慣れがでてくれば、暗示に対して、理性的に判断する構えが低くなっていく。そうすると、暗示内容が、抵抗なく、すんなりと、生徒に受け入れられるようになる。このためには、生徒にとって、よく理解できる言葉をくり返すことが必要であろう。

ウ 自分自身にかける暗示

生徒自身が、自分で暗示をかける方法である。「気持ちがおちつくために」にのべた、腹式深呼吸によって、心身をリラックスさせた後、次のように、3段階に分けて、心の中で唱えることにより、暗示効果をねらうものである。

- とても気楽に勉強に取り組むことができる。
- 勉強に取り組むと、頭がすっきりして、もりもり、学習意欲がわいてくる。
- 困難な問題があっても、ますます、張り合いがでてきて、解決の鍵が見つかり、楽しく勉強ができる。

6. 授業場面における暗示の例

実際の授業場面において、効果的な暗示はどんなものが考えられるか、実技をともなう教科、科目の学習指導案をとおしてのべることにする。

事務機械学習指導案

1. 単元名 カナ・タイプライター

2. 単元設定の理由

近年、産業経済界をはじめとし、社会の各分野において、事務を合理的に処理するため、各種の事務機械が導入され、これが普及してきている。その利用範囲も、事務上の単純な個々の作業から、複合的な作業や、判断的な仕事の面にまで拡大されてきている。なかでも、カナ・タイプライターは、単能的事務機械操作の基本を習得でき、事務機械の入門としてふさわしいものとする。このことから、カナ・タイプライターの機能と操作を中心に学習させることが、将来、複合機械の機能および操作につながるもので、適切な題材として設定した。

3. 単元の目標

- (1) 単能的な事務機械の代表である、カナ・タイプライターの機能を理解させ、操作技術を習得させる。
- (2) カナ・タイプライターの操作をとおして、機械化された事務の流れをは握させる。

4. 指導計画 総時間数 35時間

- (1) カナ・タイプライターの基礎知識……………2時間
- (2) カナ・タイプライターの基礎技術……………16時間
 - ① ガイドキーの打ち方……………(1時間) ……本時
 - ② 「キク」の打ち方……………(1時間)
 - ③ 「カスイテタンナニラリ」の打ち方……………(2時間)
 - ④ 「コヒヲサツミネルー」の打ち方……………(2時間)
 - ⑤ 「オエウアフヤユヨワホ」の打ち方……………(2時間)
 - ⑥ 「ケヘソセムナヌロ」の打ち方……………(2時間)
 - ⑦ 文字の組み合わせ……………(2時間)
 - ⑧ 数字と符号……………(4時間)